



ほうらい

教育目標

- かしこく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校
令和5年11月21日
第33号 文責：亀丸

本をたくさん読もう

11月の児童会目標は「本をたくさん読もう」です。「本と親しんでもらうため」、「低学年も楽しく本とふれあうため」に図書委員会が中心になって取組を進めています。

月間多読賞は10月26日から11月10日までの間に、図書室やなぎさ号から借りた本の冊数を記録します。低学年は10冊、中学年は7冊、高学年は5冊以上を目指しました。

17日（金）には図書委員会主催の図書祭りが行われました。読書普及員による読み聞かせ（お話広場）や月間多読賞の表彰の他、図書クイズと盛りだくさんな内容でした。

最初に伊藤裕子読書普及員が、「一寸法師」を読み聞かせました。大きな紙に場面ごとの絵がたくさん描かれていて、折ったり、広げたり、畳んだりしながら場面の絵を見せていく「折り紙紙芝居」と呼ばれるものでした。子ども達は場面ごとの絵に興味を示しながら、お話の世界に引き込まれ、楽しそうにお話を聞いていました。



次に月間多読賞の表彰がありました。月間多読を達成できた子49名が呼名され、その場に立ちました。本校の子ども達は読書が好きなお子が多いといつも感心させられます。月に一度なぎさ号が来校すると、狭い車内に乗り込み、楽しそうに本を選んでいきます。図書室の本も合わせたくさんの本と出会い心を豊かにしている子ども達です。きっと本からたくさんの宝物を手に入れていることでしょう。



最後に行われた読書クイズでは、「キャラクタークイズ」や「本の題名クイズ」、「〇×クイズ」と様々なクイズを楽しみました。1～2問目は比較的簡単ですが、3問目は結構難しい問題になっていて、準備をした図書委員会の工夫が感じられました。「キャラクタークイズ」と「〇×クイズ」は個人で、「本の題名クイズ」は縦割り班で相談して答えるやり方でした。「キャラクタークイズ」では、福沢諭吉という難問が出題されました。「どこかで見たことがあるけど」と言っている子どもがいました。「一万円札の絵柄」と紹介され大きく頷いていました。「題名クイズ」は、本の表紙の絵を見てその本の題名を当てるといった問題でした。最初は簡単でしたが、3問目の「金の月のマヤ」は答えられない班もありました。「〇×クイズ」は、「秘密シリーズ」や「かいけつゾロリシリーズ」などシリーズ本の発行巻数でした。



この会に向けて準備作業などを、委員長の菅原乙姫さんを中心に図書委員会のメンバーが頑張ってきました。当日もしっかりと会を進行したり、クイズを出したりすることができました。ここでも高学年の子ども達のリーダーとしての成長を見ることができました。

12月の行事予定は裏面に掲載しています